

# 自動記録式沈下計

## SGL-□EB

(特許 No1009824号)

### 概要

本装置は建築物・構造物・鉄道路盤ならびに高速道路・路肩等に測点を設置し、これらの下部構造付近の土木工事や経年変化等によって生ずる沈下、隆起の状態を「水盛」の原理を応用したピックアップで電氣的に検出し、原点に対する変化量を演算記録するものです。

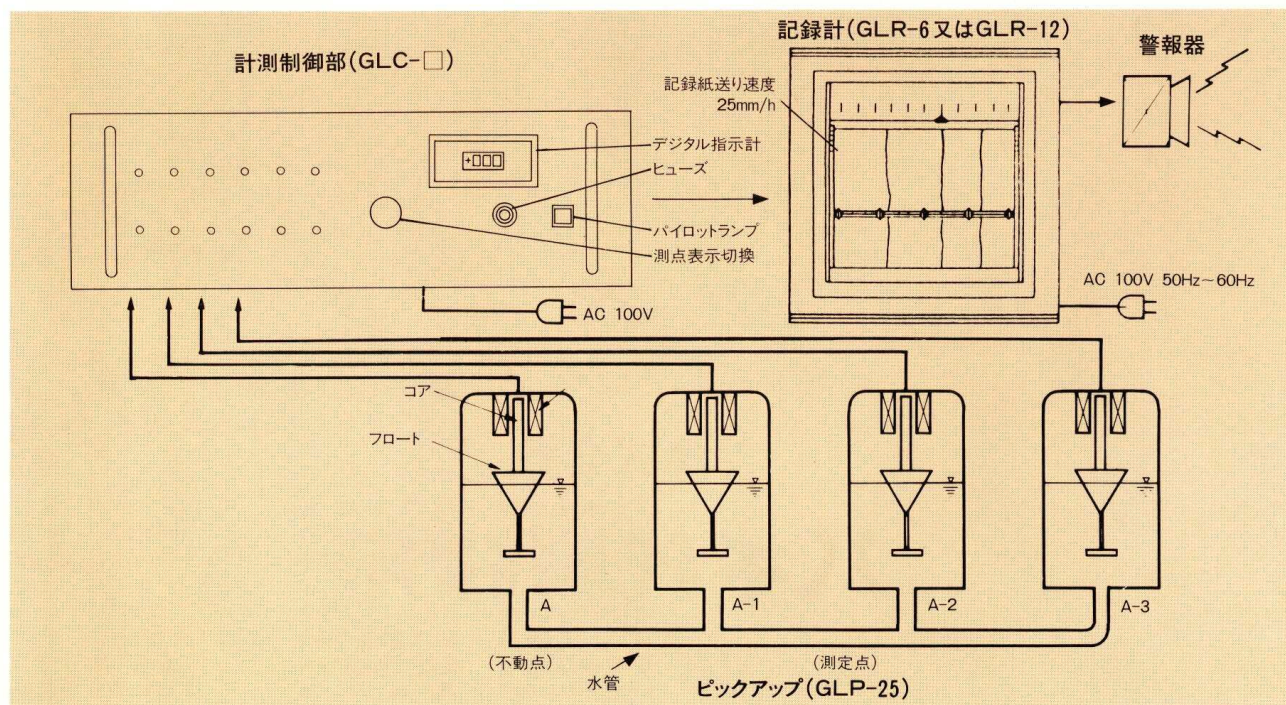
### 特長

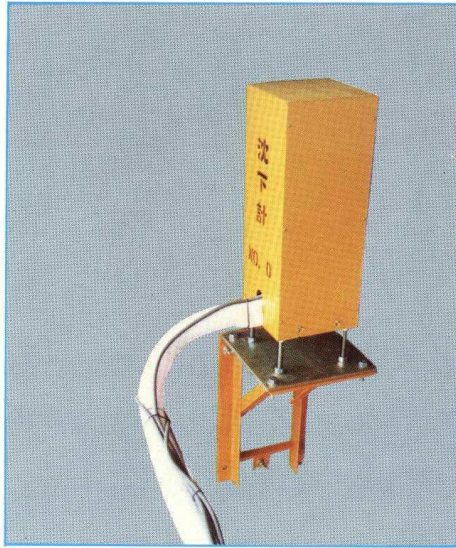
原点と測点の検出器が同一構造で、その水位差を電氣的に演算、記録するため、他方式に比べ次の様な特長があります。

- ①機構部分が単純なので信頼性が高く、保守が容易である。
- ②万一、急激な沈下(隆起)が生じても、応答が早いので施工管理用に最適である。
- ③気温変化、日射等による誤差が生じにくい。
- ④基準給水装置を必要としないので、建築限界等の厳しい現場でも計器設置が可能である。

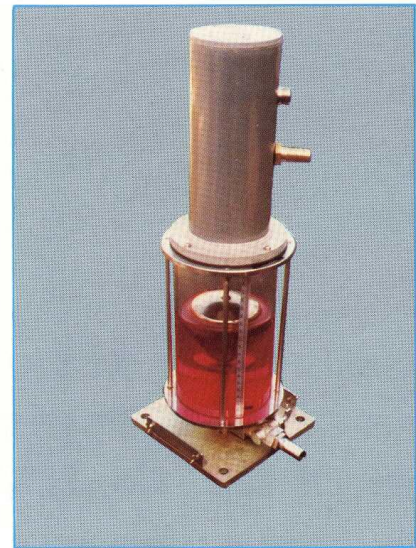
### 構成

下図の通りの構成となります。





(標準型検出器)



(防風・防水型検出器)

## 仕様

測定範囲	±25mm
測定感度	0.5mm
記録倍率	1mmを1目盛(1.8mm)に記録
記録方式	6測点または12測点ごとに記録計1台。切換色別打点式
印点切換時間	約5秒(1周期30秒又は60秒)
警報設定範囲*	隆起側 0～+25mm間任意設定可 沈下側 0～-25mm間任意設定可
記録紙送り速度	25mm/H(1ヶ月毎記録紙交換)
電源	AC100V 2A 50/60Hz

\*警報レベルは各測点毎に設定出来ます。



(記録計及び計測制御部)

### 〈実寸データ〉

